

—プレス・リリース—



東京バレエ団

ブルメイステル版 「白鳥の湖」 全4幕
Swan Lake

繊細な白鳥たちの舞、誘惑の舞踏会
何度でも観たい名作バレエ、新たなキャストで待望の再演！



年間支援企業：

つなごう。繋ぎを。幸せを。



KOSÉ



清水建設



ヤマノホールディングス

NBS

公益財団法人 日本舞台芸術振興会

〒153-0063 東京都目黒区目黒 4-26-4 TEL 03-5721-8102(広報宣伝 直通)FAX 03-5721-8011

(西井 nishii@nbs.or.jp 山仲 yamanaka@nbs.or.jp)

*この公演に関するプレス写真等のお問い合わせは上記までお願いいたします。

神秘的でドラマティックな「白鳥の湖」の決定版！ 今最高潮の東京バレエ団でお楽しみください！

『白鳥の湖』には数多の振付・演出が存在しますが、日本では東京バレエ団のみが上演するブルメイス
テル版『白鳥の湖』。一度この版を観ると「ほかのヴァージョンでは物足りない！」と感じるほど、見ど
ころにあふれた壮大な舞台が観るものを魅了します。

悲劇のヒロイン、オデット姫率いる白鳥たちの優美な群舞が観客を幻想的な世界へと誘う“白の世界”
だとすると、相対する“黒の世界”はブルメイステル版最大の特徴であり魅力でもある第3幕の舞踏会！
王子を罠にかけるため、悪魔ロットバルト、黒鳥オディールを筆頭に各国の踊り手が一丸となって舞い
踊る様は怪しくも美しい輝きと力強いエネルギーにあふれています。

その魅惑のステージを彩るのは、今まさに最高潮を迎えた美しきダンサーたち。定評のある実力派か
ら今回ロール・デビューを果たす気鋭のスター、さらに豪華ゲストまで、最強の布陣、バレエ団総出演で
お贈りします。

ファンならずとも見逃せない、2026年最注目ステージにどうぞご期待ください！



photo: Kiyonori Hasegawa

ストーリー

第1幕

若い王子は王宮の生活に息が詰まりそうだ。貴族たちや城も彼にはうとましい。宮廷生活につきもののお追従や礼儀作法が窮屈で仕方がない。



第2幕

ジークフリート王子は狩りの最中に湖のほとりで白鳥に姿を変えられた娘たちに出会い、その中にオデットを見出す。ジークフリートとオデットは恋に落ちた。ジークフリートは生涯オデットに忠実であること、悪魔の呪いから娘たちを救うことを誓う。



第3幕

王妃であるジークフリートの母は、王子に花嫁を選ばせるために自分の城で宴を催す。オデットを愛している王子は、花嫁を選ぶことを拒む。

このとき、悪魔が騎士ロットバルトに身をやつして城に現れる。彼は、オデットにそっくりの自分の娘オディールを連れてきた。あまりに似ているので惑わされた王子は、自分の花嫁にオディールを選んでしまう。悪魔は勝利する。



第4幕

自分の過ちを悟った王子は湖へと急ぐ。彼はオデットに許しを乞うが、彼女は去っていく。誓いは破られ、オデットは悪魔の呪いから逃れることができない。悪魔は王子を殺めようとする。嵐が巻き起こり、湖の水が岸からあふれ出る。王子に死の危険が迫っているのを見て、オデットは自分の命もかえりみず彼のもとへ飛び込む。



photos: Kiyonori Hasegawa, Koujiro Yoshikawa

東京バレエ団による ブルメイステル版『白鳥の湖』 3つの見どころ

1: 黒鳥が暗躍する第3幕の舞踏会

『白鳥の湖』では多くの版で清純なヒロイン・オデット、そして王子を誘惑する妖艶なオディールを1人のダンサーが演じ分けをするというのが見どころであり、オデット/オディールは時にバレリーナの試金石とも言われる役です。そんなオディールが父である悪魔ロットバルトとともに王宮の舞踏会に乗り込む第3幕においては、“ディヴェルティスマン”と呼ばれる物語の本筋には関係のない踊りの見せ場が盛り込まれています。ブルメイステル版ではこのディヴェルティスマンを披露する各国の踊り手(パーティーの余興の踊り、というような設定です)たちが全員オディールとロットバルトの仲間という設定になっており、まさに総力戦で王子・王妃を騙しにかかります。特に“黒鳥のパ・ド・ドゥ”と呼ばれる(オディールの32回連続で回転する振付も見どころです)王子・オディールのペアの踊りのフィナーレで、全員がダイナミックに踊る様は他の版にはない、圧倒的な迫力にあふれています。



2: 東京バレエ団の十八番、第2幕の幻想的な群舞

『白鳥の湖』では第2幕でチュチュと呼ばれる純白の衣裳に身をつつんだ女性ダンサーたちの群舞(コールド・バレエ)も大きな見どころです。バレエの代名詞にもなっている場面ですが、東京バレエ団の群舞はそのクオリティの高さが世界的にも高く評価されています。ただ揃っているというレベルを超越し、精神性の高さまで感じられるものと、毎公演大きな拍手が巻き起こる感動の2幕は必見です。



3: 作品の世界観を高める演劇性の高さ

ブルメイステル版が優れている要素の1つに演劇性の高さがあげられます。1幕では衣裳にも如実にあらわれている貴族と農民との決定的な身分差、そして特に第3幕では踊りのあとのレヴェランス(お辞儀)を全て排除し、物語が途切れないように工夫がなされています。バレエでは手振り・身振りによるマイム(演技)の要素もありますが、マイムに頼らず、極力振付と演出の力で物語を観客に伝える工夫にみちた本作はドラマティックな魅力にあふれています。

photos: Kiyonori Hasegawa

公演概要


東京バレエ団

ブルメイステル版『**白鳥の湖**』 全4幕

音楽:ピョートル・チャイコフスキー
 改訂振付:ウラジーミル・ブルメイステル、(第2幕)レフ・イワノフ/アレクサンドル・ゴールスキー
 装置デザイン:エレナ・キンクルスカヤ
 衣裳デザイン:アレクサンドル・シェジュノフ
 衣裳製作:ティマート・プロダクション

■東京公演 会場:新国立劇場オペラパレス

	オデット/オディール	ジークフリート王子	ロットバルト	道化
9/9(水)18:30	永久 メイ☆	柄本 弾	安村 圭太	池本 祥真
9/10(木)18:30	秋山 瑛	大塚 卓	柄本 弾	二山 治雄
9/11(金)18:30	沖 香菜子	宮川 新大	岡崎 司	井福 俊太郎
9/12(土)12:30	秋山 瑛	大塚 卓	鳥海 創	二山 治雄
9/12(土)18:30	永久 メイ☆	柄本 弾	安村 圭太	池本 祥真
9/13(日)13:00	沖 香菜子	宮川 新大	岡崎 司	山下 湧吾

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会
 後援:一般社団法人日本バレエ団連盟
 助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

■京都公演 会場:ロームシアター京都 メインホール

	オデット/オディール	ジークフリート王子	ロットバルト	道化
9/17(木)18:30	沖 香菜子	宮川 新大	鳥海 創	井福 俊太郎

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会
 共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
 協力:読売テレビ

■西宮公演 会場:兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

	オデット/オディール	ジークフリート王子	ロットバルト	道化
9/19(土)14:00	永久 メイ☆	柄本 弾	安村 圭太	池本 祥真

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会 / 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター
 協力:読売テレビ

■堺公演 会場:フェニーチェ堺 大ホール

	オデット/オディール	ジークフリート王子	ロットバルト	道化
9/21(月祝)14:00	秋山 瑛	大塚 卓	柄本 弾	二山 治雄

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会
 共催:フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)
 協力:読売テレビ

演奏:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(東京)
 大阪フィルハーモニー交響楽団(京都・西宮・堺)

上演時間:約3時間(休憩2回含む)

☆印:ゲスト(永久メイ マリインスキー・バレエ ファーストソリスト)
 ※表記の出演者は2026年3月13日現在の予定です。ダンサーの怪我等により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。出演者変更によるチケットの払い戻し、日にち変更はお受けできません。正式な出演者は当日発表とさせていただきます。※未就学児の入場はご遠慮ください。

【入場料金(税込)】

	S席	A席	B席	C席	D席	Under
東京公演	¥17,000	¥13,000	¥10,000	¥8,000	¥6,000	U25シート: ¥3,000
京都公演	¥13,000	¥10,000	¥7,000	¥5,000	¥3,000	ユースS(29歳以下): ¥6,000 ユースA(29歳 以下): ¥5,000
西宮公演	¥13,000	¥10,000	¥7,000	¥5,000	¥3,000	
堺公演	¥13,000	¥10,000	¥7,000	¥5,000	¥3,000	

※クラブ・アッサンブレ会員は東京・京都・堺公演がU25をのぞき各席種1割引。

※ロームシアター京都会員は京都公演のみ、S,A席1割引。

【チケット発売情報】

■東京公演

東京バレエ団友の会「クラブ・アッサンブレ」WEB 先行発売: 4/16(木)19:00~4/26(日)18:00

NBS WEB チケット先行発売: 4/20(月)19:00~4/26(日)18:00

一般発売: 4/28(火)10:00より

【お得なチケット】

ペア割引 [S, A席]: 2枚で1,000円割引 ※NBS(WEB・電話)のみで発売。

親子割引 [S, A席]: お子様半額(対象:小学生~高校生)

※NBS(WEB・電話)のみで5/28(木)10:00より発売。大人1名につきお子さま2名まで。座席指定不可。

U25シート ¥3,000

※NBS WEB チケットのみで8/6(木)19:00より引換券を発売。公演当日小学1年生~25歳までの方が対象。座席選択不可。公演当日、年齢が確認できる身分証を確認のうえ座席指定券をお渡しします。

■京都公演

東京バレエ団友の会「クラブ・アッサンブレ」WEB 先行発売: 4/16(木)19:00~4/26(日)18:00

NBS WEB チケット先行発売: 4/20(月)19:00~4/26(日)18:00

ロームシアター京都会員先行発売: 4/21(火)10:00~4/26(日)18:00

※Club 会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)、サポーター・パートナー会員、京響友の会

一般発売: 4/28(火)10:00より

■西宮公演

芸術文化センター会員先行予約: 4/17(金)10:00より

芸術文化センター一般発売: 4/19(日)10:00より

NBS 一般発売: 4/28(火)10:00より

■堺公演

東京バレエ団友の会「クラブ・アッサンブレ」WEB 先行発売: 4/16(木)19:00~4/26(日)18:00

NBS WEB チケット先行発売: 4/20(月)19:00~4/26(日)18:00

一般発売: 4/28(火)10:00より

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】

NBS WEB チケット [NBS 検索](https://www.nbs.or.jp/) <https://www.nbs.or.jp/>

NBS チケットセンター TEL 03-3791-8888 (平日 10:00~16:00 土日祝・休み)

[NBS 以外の前売所]

- ・e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> [対象公演: 東京、京都、西宮、堺]
※座席選択最速先行受付(東京) 4/17(金)~4/26(日)、座席選択先行受付(京都、堺) 4/22(水)~4/26(日)
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [対象公演: 東京、京都、西宮、堺] ※プリセール(東京、京都、堺) 4/22(水)~4/26(日)
- ・ローソンチケット <https://l-tike.com/> [対象公演: 東京、京都、西宮、堺]
(Lコード:(東京)33855、(京都)52463、(西宮)56334、(堺)56275) ※座席選択先行受付(東京、京都、堺) 4/22(水)~4/26(日)
- ・楽天チケット <https://r10.to/classics> [対象公演: 東京] ※座席選択先行受付 4/22(水)~4/26(日)
- ・CN プレイガイド <https://www.cnplayguide.com/thetokyoballet/> [対象公演: 京都]
0570-08-9999(オペレーター対応/10:00~18:00) 先行予約 4/22(水)~4/26(日)
※0570 で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHS・IP 電話からはご利用になれません。
※音声自動応答での受付番号はダイヤル回線からのご利用はできません。プッシュ回線またはトーン信号の出る電話機からおかけください。
- ・芸術文化センターチケットオフィス <https://www.gcenter-hyogo.jp> [対象公演: 西宮]
0798-68-0255(10:00~17:00 月曜休み ※休日の場合は翌日)
インターネット予約(24 時間受付) <https://www.gcenter-hyogo.jp>
※窓口直接購入: 芸術文化センター2 階総合カウンター【4/21(火)より、残席がある場合のみ】
- ・フェニーチェ堺 <https://www.fenice-sacay.jp/> [対象公演: 堺]
【インターネット】sacay メイト WEB(要無料登録)
【電話】0570-08-0089 (10:00~18:00) 4/25(土)10:00 より
【窓口】フェニーチェ堺(9:00~20:00)休館日: 第 1・3 月曜日(祝日の場合は翌平日)
堺市立梅文化会館(9:00~20:00)休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・ロームシアター京都 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> [対象公演: 京都]
オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料)
チケットカウンター TEL.075-746-3201(窓口・電話とも 10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)
- ・京都コンサートホール [対象公演: 京都]
オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料)
チケットカウンター TEL.075-711-3231(窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

●公演公式サイト <https://thetokyoballet.com/performance/swan2026/>

【参考映像】

■ブルメイステル版『白鳥の湖』誕生秘話

https://www.youtube.com/watch?v=DZ647qEztQA&list=PL1ATUXXPZd_b_ka33Ms1IJfjgoM0xqBVu&index=4

■舞台美術家エレナ・キンクルスカヤ インタビュー

https://www.youtube.com/watch?v=oE5DppIGYYM&list=PL1ATUXXPZd_b_ka33Ms1IJfjgoM0xqBVu&index=3

■過去舞台映像(ハイライト)

https://www.youtube.com/watch?v=ddnADq5X4ZA&list=PL1ATUXXPZd_b_ka33Ms1IJfjgoM0xqBVu&index=2

● 「白鳥の湖」主な出演者 バイオグラフィー

<p>オデット/ オディール (9/9、12 ソワレ、 19)</p>		<p>永久 メイ May Nagahisa <ゲスト> (マリンスキー・バレエ ファーストソリスト)</p> <p>兵庫県出身。深田真紗子バレエアカデミーで学ぶ。2013年、ユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)のジュニア部門で1位受賞。13歳でモナコ王立プリンセス・グレース・アカデミーに留学し、15歳の時にマリンスキー・バレエのユーリ・ファデーエフ監督に認められ、国際バレエ・フェスティバルの『ラ・バヤデール』の舞台に立つ。17年、卒業と同時にマリンスキー・バレエに研修生として入団。21年にはファーストソリストに昇格した。</p> <p>おもなレパートリーに、『眠れる森の美女』のオーロラ姫、『ジゼル』のジゼル、『くるみ割り人形』のマーシャ、『ラ・シルフィード』のシルフィード、ラヴロフスキー『ロミオとジュリエット』のジュリエット、バランシン『ジュエルズ』のダイヤモンド、エメラルドなどがある。20年には『Forbes JAPAN』の「世界を変える 30歳未満の 30人」、21年には『Forbes ASIA』でも30人に選出された。</p>
<p>オデット/ オディール (9/11、13、17)</p>		<p>沖 香菜子 Kanako Oki プリンシパル</p> <p>神奈川県出身。4歳よりバレエを始める。2008年に文化庁新進芸術家海外研修制度に合格しボリショイ・バレエ学校に留学。10年に東京バレエ団に入団。おもなレパートリーに、ブルメイステル版『白鳥の湖』、『ドン・キホーテ』、『ラ・シルフィード』、『ジゼル』、『ドリーム・タイム』、『ノイマイヤー版/クランコ版』『ロミオとジュリエット』、『くるみ割り人形』、『海賊』、『眠れる森の美女』などの主演を踊る。</p>
<p>オデット/ オディール (9/10、12 マチネ、 21)</p>		<p>秋山 瑛 Akira Akiyama プリンシパル</p> <p>埼玉県出身。7歳よりバレエを始める。東京バレエ学校、リスボン国立コンセルヴァトワールで学び、イタリアのラ・カンパーニャ・バレエ・クラシコで活躍。2013年タンツオリンピックで銅賞を受賞。16年、東京バレエ団に入団し、『眠れる森の美女』、『ジゼル』、クランコ版『ロミオとジュリエット』など数々の主演を務める。24年、芸術選奨文部科学大臣賞新人賞を受賞、ブノワ舞踊賞女性ダンサー部門にノミネートされた。</p>
<p>ジークフリート 王子 (9/9、12 ソワレ、 19)</p>		<p>柄本 弾 Dan Tsukamoto プリンシパル</p> <p>京都府出身。5歳よりバレエを始める。2008年に東京バレエ団に入団。10年『ラ・シルフィード』、『ザ・カブキ』で主役に抜擢。『ドン・キホーテ』、『ジゼル』、『白鳥の湖』、『海賊』、『ロミオとジュリエット』、『眠れる森の美女』などの古典、ベジャール作品ほか数々の作品で主役を踊る。23年、第48回(ニジンスキー・ガラ)に招待され、『バクチIII』を踊った。24年に第36回服部智恵子賞、25年に芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。</p>
<p>ジークフリート 王子 (9/11、13、17)</p>		<p>宮川 新大 Arata Miyagawa プリンシパル</p> <p>福井県出身。6歳でバレエを始める。ジョン・クランコ・バレエ学校で学び、モスクワ音楽劇場バレエ、ロイヤル・ニューゼaland・バレエ団で活躍。2012年にヴァルナ国際バレエコンクールで銀賞を受賞。15年に東京バレエ団に入団。『ラ・シルフィード』、『白鳥の湖』、『ドン・キホーテ』、『海賊』、『眠れる森の美女』、『ザ・カブキ』ほか、古典/コンテンポラリー問わず幅広い作品で活躍する。21年に文化庁芸術祭新人賞、26年に芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。</p>
<p>ジークフリート 王子 (9/10、12 マチネ、 21)</p>		<p>大塚 卓 Suguru Otsuka ファーストソリスト</p> <p>千葉県生まれ。5歳でバレエを始める。2015年、奨学金を得てハンブルク・バレエ学校に留学。卒業後、クイーンズランド・バレエ団を経て、20年に東京バレエ団に入団。レパートリーは、『くるみ割り人形』のくるみ割り王子、クランコ版『ロミオとジュリエット』のロミオ、『眠れる森の美女』のデジレ王子や、ベジャール作品『M』の聖セバスチャン、『ギリシャの踊り』のパ・ド・ドゥ、『中国の不思議な役人』の中国の役人などがある。</p>

※表記の出演者は2026/3/13現在の予定です。

東京バレエ団

1964年に創設、3年目の1966年にはモスクワ、レニングラードで公演を行い、ソビエト文化省より“チャイコフスキー記念”の名称を贈られた。創立以来一貫して、古典の全幕作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを誇る。モーリス・ベジャール(「ザ・カブキ」「M」)、イリ・キリアン(「パーフェクト・コンセプト」)、ジョン・ノイマイヤー(「月に寄せる七つの俳句」「時節の色」)ら現代バレエ界を代表する三大振付家によるオリジナル作品を上演。またウラジーミル・ワシーリエフの「ドン・キホーテ」、ナタリア・マカロワの「ラ・バヤデール」、マッツ・エックの「カルメン」、ノイマイヤーの「ロミオとジュリエット」など、当代一流の振付家の作品をその指導により上演している。ことに22ものベジャール作品をレパートリーに持ち、モーリス・ベジャール・バレエ団とは兄弟カンパニーとして認められており、2014年には合同でベジャール「第九交響曲」等を初演。ダニエル・バレンボイム、ズービン・メータなど、巨匠指揮者との共演も果たした。

これまでに日本の舞台芸術史上始めて以来36次799回の海外公演を行い、“日本の生んだ世界のバレエ団”として国内外で高く評価されている。33カ国158都市を巡り、とくにパリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ボリショイ劇場、マリンスキー劇場などヨーロッパの名だたる歌劇場に数多く出演し絶賛を博した。2024年11月の第36次海外公演ではイタリアのサルディーニャ島カリアリから、バーリ、ボローニャ、リミニとアドリア海に面した東海岸を中心とした4都市をまわるイタリアツアー全13公演を実施。「ラ・バヤデール」「影の王国」とベジャール、キリアンの傑作を上演して連日、完売の盛況が続き、「日本の有名なバレエ団が偉大な巨匠たちの作品とともに感動に満ちた一夜を演出した」とメディアでも絶賛を浴びた。

2015年8月、斎藤友佳理が芸術監督に就任、ホームズ版「海賊」、クランコ版「ロミオとジュリエット」といった全幕作品のバレエ団初演、チャイコフスキー三大バレエである「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」の新制作プロジェクトを成功させた。2019年創立55周年記念委嘱作品として勅使川原三郎「雲のなごり」を世界初演、この作品を含む〈勅使川原三郎／ベジャール／バランシン〉公演の成果により、令和元年度(第74回)文化庁芸術祭大賞を受賞。2021年東日本大震災後に開催した〈HOPE JAPAN〉ツアーを10年ぶりに始動し、コロナ禍のもとでバレエを通じて日本全国にエールを送った。2022年10月に上演した「ラ・バヤデール」は令和4年度(第77回)文化庁芸術祭の関東参加の部において大賞を受賞。2023年10月には、「M」以来30年ぶりのオリジナル全幕作品として、金森穰委嘱「かぐや姫」の世界初演を果たした。

2024年8月、創立60周年を機に新体制を発足、団長に斎藤友佳理、芸術監督／バレエ・ミストレスに佐野志織が就任。



東京文化会館での〈上野の森バレエホリデイ〉、めぐろパーシモンホールでの〈めぐろバレエ祭り〉など、地域に根ざした活動にも力を入れ、幅広い観客に親しまれるバレエ作品の上演、普及活動を行っている。

第36次海外公演イタリア(2024年)カーテンコール
(リミニ公演)
photo: Ayano Tomozawa

齋藤 友佳理 さいとう ゆかり 東京バレエ団 団長

神奈川県出身。6歳よりバレエを始める。ロシアへの短期留学を繰り返し、M.セミョーワやE.マクシーモワに師事。1987年に東京バレエ団に入団、以後25年にわたって同団のプリンシパルとして活躍した。92年の海外公演ではボリショイ劇場、マリインスキー劇場などで『ラ・シルフィード』を踊り、“日本のマリー・タリオーニ”と称賛される。数々のロシア国内の劇場や、リトアニア、セルビア、またハンブルク・バレエ団などに客演。2009年、ロシア国立舞踊大学院バレエマスターおよび教師科を首席で卒業、11年よりモスクワ音楽劇場バレエにて、ピエール・ラコットのアシスタントとして『ラ・シルフィード』を指導した。芸術選奨文部科学大臣賞、服部智恵子賞、東京新聞の舞踊芸術賞、横浜文化賞、神奈川文化賞、橘秋子賞特別賞などを受賞。12年に紫綬褒章を受章した。15年8月に東京バレエ団芸術監督に就任。24年8月、団長に就任。



佐野 志織 さの しおり 東京バレエ団 芸術監督／バレエ・ミストレス

7歳より1年間モダン・ダンスを習った後、8歳よりバレエのレッスンを始める。1984年に東京バレエ団に入団、1992年よりプリンシパルとして活躍した。

主な出演作品に、『白鳥の湖』、『ジゼル』、『ラ・シルフィード』、『眠れる森の美女』、ベジャール振付『火の鳥』、『ザ・カブキ』、『春の祭典』、『ペトルーシュカ』、『舞楽』、バランシン振付『水晶宮』、プラスカ振付『タムタム』などがある。世界初演作品にベジャール振付『M』、『くるみ割り人形』などの作品に出演した。2005年、東京バレエ学校の校長に就任、後進の指導に取り組み、11年4月、東京バレエ団のバレエ・ミストレスに就任。24年8月からは東京バレエ団芸術監督を兼務。

